

伊豆大島の火山活動*

Volcanic Activity of Izu Oshima Volcano

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2011年5月1日から2012年5月31日の期間における伊豆大島の火山活動の観測結果について報告する。第1図は当該期間中の伊豆大島の震源分布である。東北地方太平洋沖地震直後の島内西部～西海岸の活動が発生した以降、カルデラ火口周辺の地震活動は著しく低い状態が続いている。

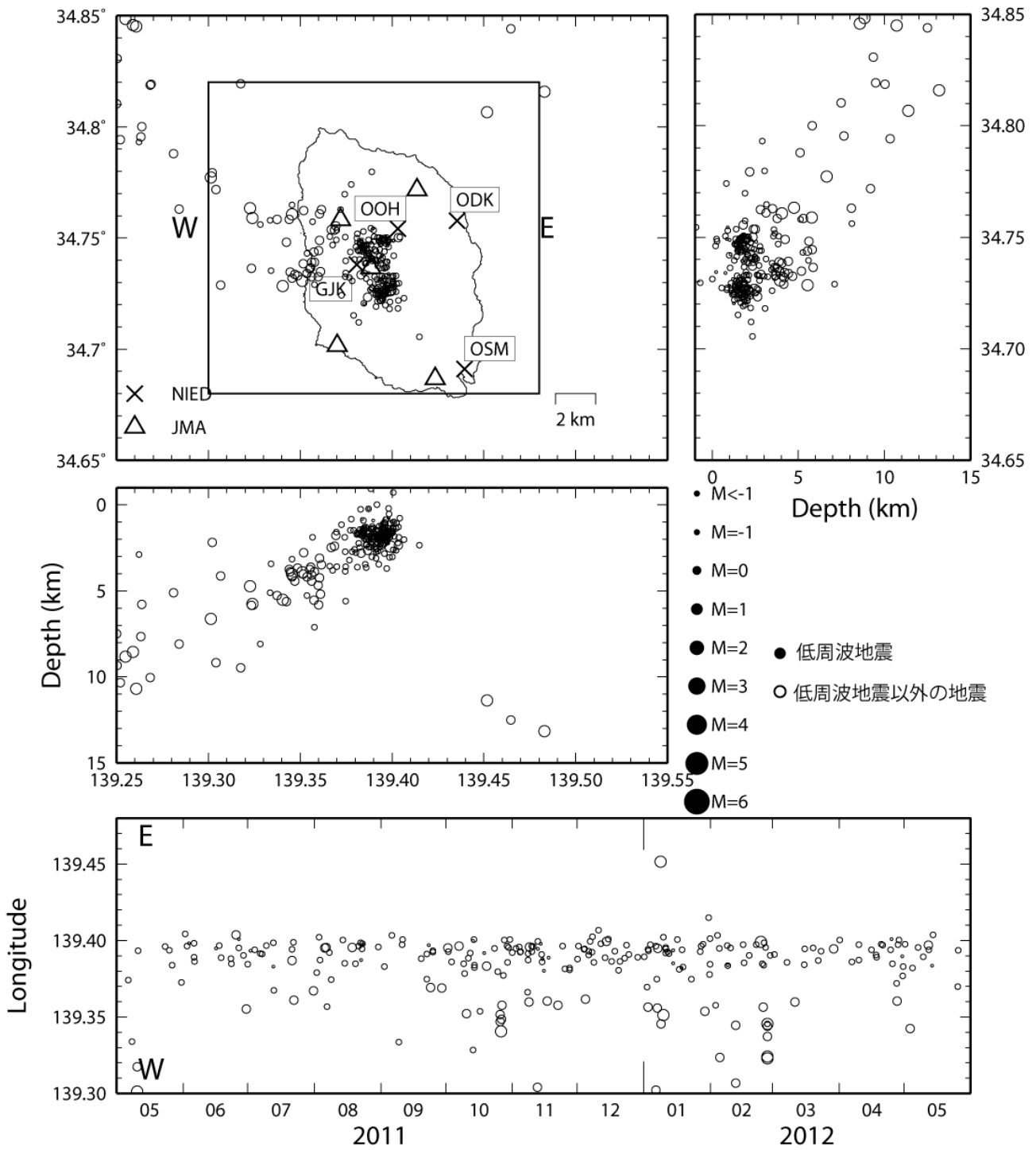
第2図は、防災科学技術研究所の伊豆大島火山活動観測網に設置した4ヶ所のボアホール式傾斜計のデータ（正時値）である。2010年12月以降は島の収縮と膨張を示唆する傾斜変動が継続して観測されている。その他は火山活動に起因すると考えられる異常な変動は見られない。

* 2012年8月7日受付

** 棚田俊收, 上田英樹, 藤田英輔, 河野裕希, 小園誠史, 長井雅史

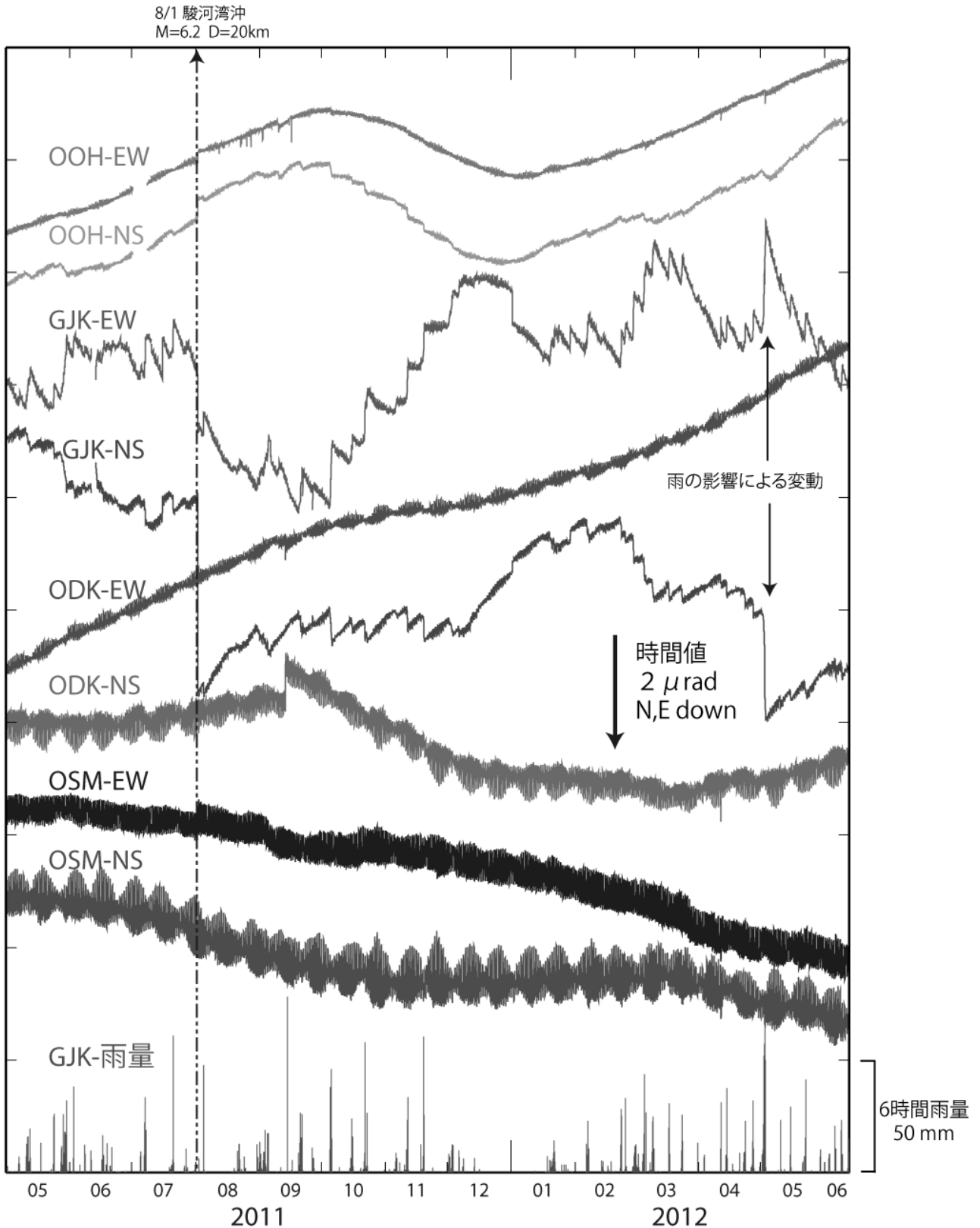
Toshikazu Tanada, Hideki Ueda, Eisuke Fujita, Yuhki Kohno, Tomofumi Kozono, Masashi Nagai

伊豆大島の地震活動 (2011/5/1 ~ 2012/5/31, 15km以浅)



第1図 伊豆大島の震源分布および時空間分布図。低周波地震は●で示す。表示期間は2011年5月1日～2012年5月31日。

Fig. 1 Hypocenter distribution around Izu-Oshima for the period from May 1, 2011 to May 31, 2012. Solid circles indicate locations of the low frequency earthquakes.



第2図 防災科学技術研究所・伊豆大島火山活動観測網による傾斜変動観測結果。表示期間は2011年5月1日～2012年5月31日で、表示データは時値（毎正時の値）。

Fig. 2 Tilt changes observed by the NIED Izu-Oshima volcano observation network for the period from May 1, 2011 to May 31, 2012. Hourly data are plotted.